

苦小牧市と取引がある事業者の方へ

苦小牧市会計管理者
(会計課担当)

令和6年10月からの振込手数料有料化対策について（お知らせ）

令和6年10月より、苦小牧市から事業所等に振り込む公金の振込手数料が有料化します。

苦小牧市の負担は年間数千万円となる見通しであり、可能な限り原資が税金である振込手数料を節約するため、以下の対策に取り組みます。

お手数をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

【振込手数料】

苦小牧信用金庫宛 ※苦小牧市指定金融機関のため単価が割安
苦小牧信用金庫以外宛 ※苦小牧信用金庫宛に比べて、単価が割高

対策1 請求書等に複数の振込先口座が表示されているときは、銀行手数料が割安なため、**苦小牧信用金庫の口座に優先**して振り込みます。

また苦小牧市からの支払いには、苦小牧信用金庫の本支店の口座を振込先に指定するよう、可能な限りの協力をお願いします。

対策2 支払日を、毎日から**毎週木曜と月末**に変更します。
支払日が祝休日のときは、前開庁日に振り込みます。
ただし、法令や契約等により支払日が定められている場合は除きます。

対策3 1回の振込額を、**振込先口座毎の合計額**に変更します。
ただし振込データ作成方法の違いにより合計されない場合もあります。
これに伴い通帳通信欄の課名や請求書番号等の表示もなくなります。

通帳通信欄の表示変更は、以下のとおりです。

(変更後) トマコイシ ← (変更前) トマコイシ+請求書番号+課名

※請求書番号は請求書等に記載があるときのみ

※通帳の文字数制限により途中で切れることもあります

ただし、振込データ作成方法の違いにより通帳通信欄の表示が異なる場合もあります。

(次ページへ続く)

(次ページから続く)

当市では振込通知書を廃止しておりますが、部署や請求書をまとめて合計で振り込む場合は振込内容の確認が困難と思われるため、希望があれば振込内訳明細書の発行が可能です。

郵送料高騰やDX推進等のため、振込内訳明細書は希望者へ電子ファイルで交付いたしますので、会社のEメールアドレスや口座情報等について、以下の苫小牧市公式ホームページのお問合せフォームより、ご連絡くださいますようお願いいたします。

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=5f8VyzFn>

効果1 対策1～3により、これまで同じ口座へ個別に何度も振り込んでいたものが1回の振込で済むため、銀行手数料を節約できます。

効果2 入金確認する方にとっても、頻繁に入金があつて確認に苦慮していた場合、まとめて入金確認ができるため、業務効率化につながります。

開始 令和6年10月10日支払い分から